

2015年度 経済学史学会国際情報発信力向上のための海外派遣プログラム
募集要項（再募集）

1. 目的

学会員（特に若手会員）の研究成果を海外に積極的に発信し、経済学史学会の国際的認知度を高めるとともに、『経済学史研究』などの専門誌への英語論文の投稿を促すため。

2. 応募資格

公募締切日現在の年齢が満50歳未満で、2015年8月1日または10月1日から2016年3月31日までに海外の学会か研究会で報告し帰国予定の会員。小樽でのEshet-Jshetでの報告も支援対象とする。

*支援を受けた会員は、報告後1年以内に『経済学史研究』をはじめとする専門誌または英文論集に、英語による単著の論文投稿（執筆）を行うこと。

3. 支援内容

渡航費、学会参加費、宿泊費、および英文校閲費の実費など、2015年度中に発生した費用（上限1人につき40万円の予定）。小樽での報告の場合、旅費、学会参加費、宿泊費、英文校閲費の実費など（上限1人につき15万円の予定）

4. 募集人員 若干名

5. 応募締切 1回目 2015年7月31日（土）（必着、少し余裕を持って応募してください）
2回目 2015年9月30日（水）（予算に余裕がある場合です）

6. 送付書類等

- 申請書（別紙）
- 報告する学会等の案内またはプログラム（PDF書類、またはURLリンク可）
- 英語（500ワード程度）による報告要旨
- 報告用の論文（既にある場合）

*以上の4点を電子メールに添付し、下記3つの宛先（代表幹事、企画交流委員会委員長、事務局補佐）各々に送付すること。

E-mail: jgatanaka [at] zj8.so-net.ne.jp; jgata [at] dpc.agu.ac.jp（田中）
ikedata [at] econ.keio.ac.jp（池田） sunetmoon [at] yahoo.co.jp（村井）

7. 選考方法と結果発表

*選考は常任幹事会で行い、選考結果を8月初旬と10月初旬に申請者に通知する。採択者については『経済学史学会ニュース』（2016年1月号）に公表する。（応募年齢を広げましたが、応募者多数の場合、若手・非常勤（任期付きを含む）優先とします）

*付記 この件に関する問い合わせ先

〒462-8739 名古屋市北区名城3-1-1 愛知学院大学経済学部 田中秀夫研究室 電話：
052-911-1011（内線2720）、または自宅電話： 上記メール（田中）でもOK。